

わくわくセカンドスクール

10月9日(水)「わくわくセカンドスクール」が本校で実施され、恩納村地区小学校(恩納小学校、安富祖小学校、仲泊小学校、山田小学校、喜瀬武原小学校)112名の児童たちと引率の先生方をお招きすることができました。

「わくわくセカンドスクール」とは「児童が学校とは異なる場所で様々な社会体験や共同生活を体験させることにより、自主、自立、共同、仲間を大切にする精神を養う。また、学校教育との融合を図った取り組みの実践を通して、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応する能力の育成を図る」と趣旨にあり、沖縄県教育委員会と糸満青少年の家が主催して実施されるもので本校が関わって4年目になります。

今回のプログラムの内容は、2泊3日で糸満青少年の家に宿泊しながら那覇南部地区の専門高等学校の施設及び実習の体験見学を行ったり、学校で学んだ産業のことをさらに深める学習をしたりとなかなか盛りだくさんの内容です。

校長あいさつでは「水産高校は私達の命の源を守る勉強をするところです」と話し「おうちに帰ったら家の人に命の大切さと自然環境を守る勉強をした」ことを伝えるようお願いしました。

さて、本校での各実習の説明及び誘導にあたってはすべて本校生徒たちが行いました。これも、その学科系列の専門性を十分学んでいないと出来るものではありません。子どもたちを前に堂々と、そして自分たちの学習していることに誇りを持って話す生徒らを見て成長を実感するとともに感動を覚えたことは言うまでもありません。

初めて見聞きすることに輝く児童らの目「ハイ」と言って積極的に質問をする子どもたちに真摯に応える本校生徒の姿、生きたキャリア教育がここにあります。

それにしても「わくわくセカンドスクール」って抜群のネーミングだと思いませんか。

